



緑と彫刻のある町



日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

- 10月の行事
- 1日 戦没者追悼式(改善センター)
 - 5日 各小学校運動会
 - 10日 町民体育祭(総合グラウンド)
 - 16日 行政相談所開設・ポリオ生ワクチン投与
 - 17日 狂犬病予防注射
 - 26日 福祉スポーツ大会

10
1997
Vol.381

Public Relation 1997 10
発行 ■ 熊本県津奈木町役場 編集 ■ 企画課
TEL 09 66 1 781 3111 熊本県豊北郡津奈木町大字小津奈木2123 印刷 ■ 水俣旭印刷

Pichi² Interview

ぴちぴちインタビュー

西牟田 恭子さん
(古川)
S49.9.21生 O型
津奈木小学校 勤務
(給食センター)



● それでは仕事の話から聞かせて下さい
恭- 学校栄養職員として新採でまいりました。何もかもがはじめてで、めまぐるしい毎日を送っています。
● 趣味はなんでしょう?
恭- お茶を少々
● 休日は何してますか?
恭- お買い物
● 理想の男性はどんなタイプ?
恭- 前向きな人

● 町で一番好きな所は?
恭- 干拓の堤防沿い
● さいごに町への要望をどうぞ
恭- 教員住宅に入っていますがシャワーがないのでつけてほしいです。
● どうもありがとうございました

HOT 今月のホットな話題!! TOPIC

ご寄附お礼 (敬称略)

新川 川崎 ヤス 様
桜戸 吉本 洋二 様(快気祝)
以上の方々から町社会福祉協議会へご寄附いただきました。
誠にありがとうございました。

ご芳志お礼 (敬称略)

地区名	世帯主	故人
平国下	長浜スナオ	正 則
大 泊	新立 和市	ハル工
染 竹	辻 道	憲一郎
中 尾	廣松 正 巨	

以上の方々から町社会福祉協議会へ香典返しとして金一封をご寄附いただきました。ご意志に添い有効に活用させていただきますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

町の人口と世帯数 (平成9年9月1日現在)

人口総数	5,924 (+2)
(男)	2,834 (+1)
(女)	3,090 (+1)
世帯数	1,895 (+1)

ひとりごつ

「じーちゃん肩でももんでやろうか? ばーちゃんおいしもんでも買ってきてやろうか?」何気ない会話ですが、気難しいお年寄りだったら「そげん、無理して、してくれんちよか」ということになります。「~してやろうか」という言葉、考えてみると言葉は奥が深いです。(ARAKAWA)

人生恩返し 教育振興に寄附

沖縄市の上原清善さん(77)が8月22日、本町を訪れ「教育振興に役立ててください」と現金を寄附されました。

第2次大戦中にフィリピンに渡った上原さんは、一緒に渡った150人のなかでただ1人奇跡的に生還。その後事業に全力を注ぎ60歳からは今までの恩返しにと寄附活動をされています。寄附してまわられた学校や自治体は約2000カ所にもなるそうです。町では上原さんのご厚志に感謝し感謝状を贈りました。寄附金は教育振興のために活用させていただきます。

落語会の爆笑王 三遊亭歌之介独演会

9月22日つなぎ文化センターで三遊亭歌之介の独演会(落語)が行われました。当日は開演前から多くの人が集まり、立ち見も出るほどで、始まりから終わりまで笑い声が絶えない夜となりました。独特の鹿児島弁がしばらく耳から離れませんでした。



内野地区 金比羅神社落成式

内野地区の金比羅神社の落成式が9月13日行われました。老朽化による立替で、110名の方々の寄附金により完成の運びとなりました。当日は関係者約120名が参加するなか式典が行われました。海神である金比羅さんが、なぜ海も見えない内野地区にあるのか歴史を紐いてみると、今から241年前参勤交代の頃、京都の金比羅宮本尊より分神を奉戴し、内野に奉祠したのが始まりのようです。旧暦10月10日は金比羅祭りです。昔は、堂の前で相撲があったり出店が出たりで賑わっていたそうです。



津奈木町建設業協会 ウォータークーラー寄贈



津奈木町建設業協会からウォータークーラー(冷水器)をご寄贈いただきました。B&G体育館の入口に、設置してあり、今回で2台目になります。(前回の寄贈も津奈木町建設業協会)大事に使わせていただきます。ありがとうございました。

6人に1人は、ばーちゃん化している!!
 じーちゃん化は10人に1人!!

町の高齢化は今!!

データから見たチョー高齢化の現状

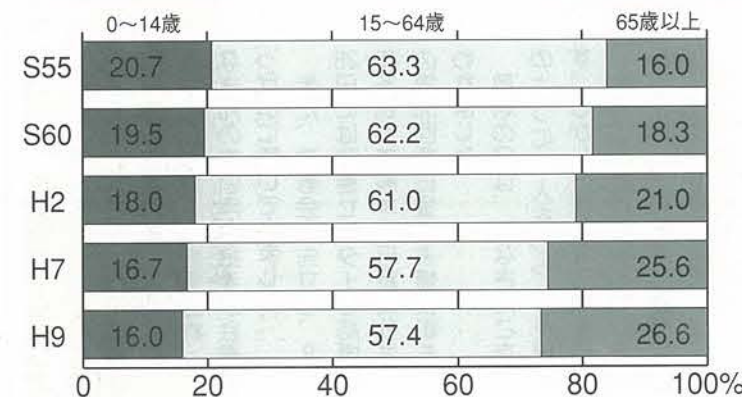
特★集

平成9年男女別指標 単位：人(%)

性別	総数	0～14歳 (年少人口)	15～64歳 (生産年齢人口)	65歳以上 (老年人口)	75歳以上
男	2,834	505(17.8)	1,689(59.6)	640(22.6)	259(9.1)
女	3,090	441(14.3)	1,711(55.4)	938(30.4)	411(13.3)
合計	5,924	946(16.0)	3,400(57.4)	1,578(26.6)	670(11.3)

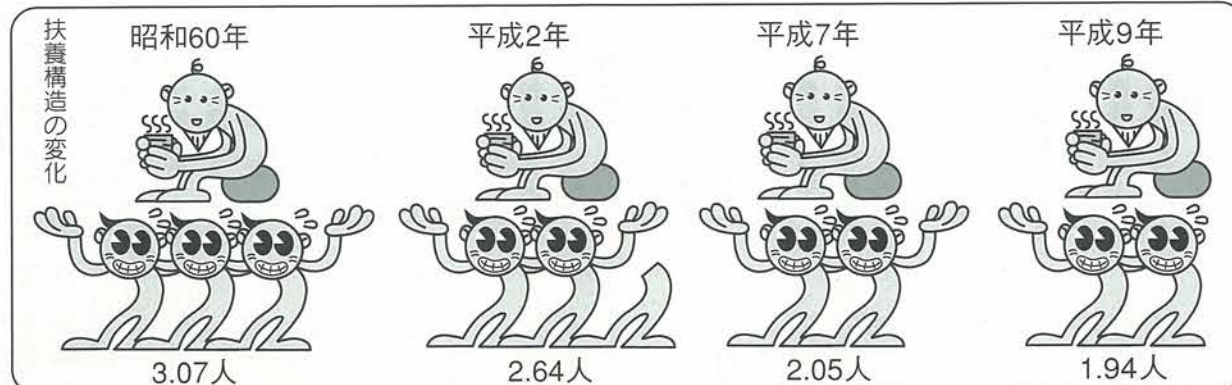
年齢別人口の推移 単位：人

年	総数	0～14歳 (年少人口)	15～64歳 (生産年齢人口)	65歳以上 (老年人口)	75歳以上
S55	6,053	1,256	3,831	966	406
S60	5,971	1,168	3,712	1,091	472
H2	5,779	1,043	3,523	1,213	526
H7	5,793	968	3,345	1,480	617
H9	5,924	946	3,400	1,578	670



人口構造の推移

年	年少人口割合 0～14歳	老年人口割合 65歳以上	従属人口割合 0～14歳 65歳以上	15～64歳 65歳以上	20～64歳 65歳以上
S55	20.7%	16.0%	36.7%	3.97人	3.55人
S60	19.5%	18.3%	37.8%	3.40人	3.07人
H2	18.0%	21.0%	39.0%	2.90人	2.64人
H7	16.7%	25.6%	42.3%	2.26人	2.05人
H9	16.0%	26.6%	42.6%	2.15人	1.94人



図で示した扶養構造の変化は社会の実態に合わせて、生産年齢人口を20～64歳にして表しています。平成9年は1・94人で1人を支えていることがわかります。

ここで注意しなければならぬのは、今後、高齢化社会の主役となるのは現在の50歳代、40歳代の人たちであり、またそれを支えるのは、現在の30歳代、20歳代、あるいはさらに若い人たちであるということです。高齢化社会は他人ごとではありません。

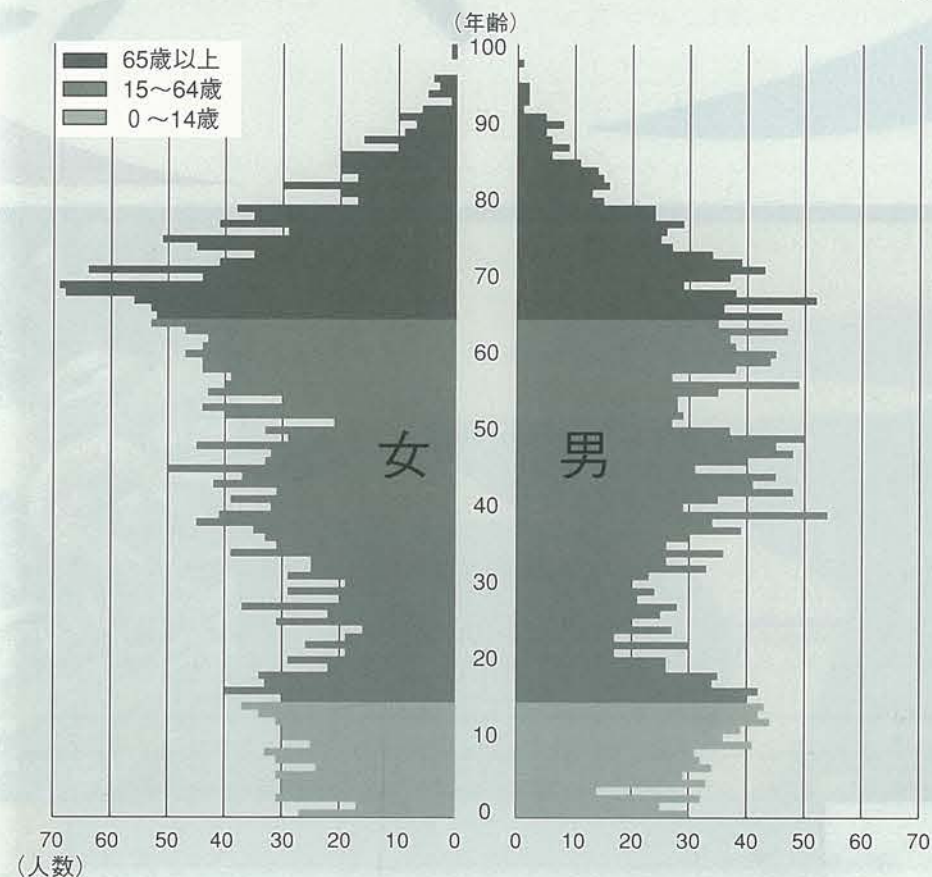
せん。多くの人にとってそれは自分自身のことであることを忘れないようにしましょう。

高齢化社会を負担の重い社会というイメージだけでなく、いともなんの解決にもなりません。今後いかにして文化的で活力ある「長寿社会」を構築していくかが重要になってきます。地域社会の連帯形成を図り、包容力のある長寿社会を築くとともに、生涯を通じた健全な充実した生活を過ごせるような豊かな環境づくりが必要です。

人生80年時代は既に始まっています。しかし、ひと口に高齢者といっても若い人も顔負けするほど元気に活躍している人もいっしょにいます。65歳以上の方もどんどん社会生活に参加して、友人との交流や趣味など生活の楽しみを発見してみましよう。長い老後が始まったと考えず、職業生活から開放され、子育ても終えて「第2の人生」がやっとスタートしたとプラス思考に考えみてはいかがでしょうか。

町の人口ピラミッド

-平成9年9月1日現在-



高齢化社会を考えるにあたり、まず津奈木町の人口構造を理解する必要があります。人口ピラミッドを見てみましょう。これは津奈木町の人口を年齢別に表したものです。ピラミッド型が理想なのですが、それとはかけ離れたデコボコの形になっています。老年人口(65歳以上)は三角形をしています。それが以降、団塊の世代(昭和22～24年生まれ)第2次ベビーブーム(団塊の世代の子供たち)を除けば、逆三角形に変化しています。特に近年は出生児数の減少が目につきます。

年齢別人口の推移を見ると、いつそ急速に高齢化が進んでいることがわかります。昭和55年の人口総数は平成9年までにさほど変化はありませんが、老年人口は1・6倍に膨れ上がり、なお加速傾向にあります。それとは逆に年少人口(0～14歳)は4分の3に減少しています。

老年人口割合からみると4人に1人は65歳以上ということになり、75歳以上の人口割合も平成7年には1割をこえています。

既に本町では、懸念されている老年人口割合と年少人口割合の逆転化も平成2年には起こっています。

人口構造の推移を見ると従属人口(一般的に生産活動に従事しない学生や生産活動から引退した人々)の割合が増加していることがわかります。当然、生産年齢人口割合(社会的生産活動を担っている人々)は減少傾向にあります。今後老年人口のスピードに合わせて従属人口は増大していきます。

老年人口1人を支える生産年齢人口の数(扶養割合)をみると昭和55年の3・97人から平成9年には2・15人と、負担の重さは約1・8倍になっています。

日本人の平均寿命は女性が83・6歳、男性が77・0歳と、ともに世界一であり、65歳の高齢者の割合は、人口のおよそ6分の1を占める。二〇一五年には4分の1に達し、ピーク時には3分の1まで達すると予想されている。さらに日本の高齢者人口は間もなく年少人口(14歳以下の人口)を上回り、小子化・高齢化の進展により二〇二五年には最悪の場合、国民負担率(租税と社会保障料の国民所得に対する割合)は55・5%まで達するといわれている。

21世紀まであと3年。私たちが明るく活力ある「長寿社会」を築き上げていくために、また、今後、高齢化社会の主役となる自分自身のために、津奈木町に視点を落として現状を探ってみました。



活性化推進委員会 只今、活動中

各種団体と
交流意見交換会

津 奈木町活性化推進委員会（会長・野崎昭三）と各種団体との交流・意見交換会が8月26日・9月6日の2回、文化センターで行われました。同委員会の委員は18人で昨年3月に任命を受け、今年で2年目。住民主体による町の活性化策を検討するために行われたもので、参加者は、第1回が海龍、グリーンゲイトファミリー、舞鶴太鼓、第2回が農協、漁協、商工会の青年部、婦人部のメンバー約35人。各団体の現状・問題点の中では、後継者不足、メンバーの高齢化等が叫ばれていました。

助役・収入役就任あいさつ



収入役 松原保男



助役 斎藤宗三

「9月の定例議会に於いて再任のご同意をいただき、はからずも2期目を担当いたしますことになりました。」

もとより浅学菲才の身ではありますが、町の財政運営の厳しさのなかで、町の発展のために全力投球を決意いたしております。

また、誠心誠意町民の皆様へのサービスを怠らず、町長の推進しております「住みたくなる町づくり」に向かって、私なりに職務を通して最善の努力を傾注し、町長の補佐を行ってまいります所存でございます。

町民の皆様方の益々のご指導、ご鞭撻、ご協力を心からお願い申し上げます。

「4年間、微力ながら助役としての重責をはたし、得ましたのは、町民のみならず、皆様のご指導ご支援のおかげでございます。心より感謝しております。」

今回任期満了にあたりまして再度、助役として務めてほしいとの町長のご推挙を頂き、去る9月の定例会で議会のご同意を得まして、再びお世話になることになりました。誠に身に余る光栄と感激ひとしおのものがああります。

もとより浅学菲才かつ高齢の身ではございますが再任されました以上は、皆様の期待にそむかないよう「住みたくなる町づくり」をめざして誠心誠意努力致す覚悟でございます。今後ともよろしくお願い致します。」

九州青年首長サミット



九州青年首長サミット in つなぎ

九州で生まれ育った青年首長が21世紀へ続く新しい時代にふさわしい行政を展開するために、それぞれの夢や思いや悩みを本音で語り合う場をもちながら、相互の研鑽を深める、第6回九州青年首長サミットが8月28日、つなぎ温泉四季彩で開会されました。県内で開催されたのは今回が初めてで、参加したのは49歳までに当選した九州内の町村

長で構成される九州青年町村長会（会長・大分県上津江村長、全36首長、平均年齢は48・7歳の会員23首長です。サミットの中で、西川町長は歓迎挨拶の後、水俣病問題の現状を説明し、それを取りまく地元自治体の行政への取組や課題を報告しました。一行は総会後、芦北郡内の視察を行い、夜は水俣市湯の尻温泉でサミット交流会、29日には水俣病資料館を訪れました。今後、次代に託れる町づくりが各地で展開されて行くことでしょう。

不知火海を取りまく2市10町の団体で構成する、環不知火海共同体によるサミットが8月26日、水俣市湯の尻の三笠屋で開催されました。同共同体は平成5年に結成され、サミットは今回で4回目。「環不知火海の自然環境を活かした観光開発」と題した基調講演の後、「環不知火海のブランド開発」をテーマに討議が行われ、会場を埋めた約百二十名の各団体の代表者も熱心に耳を傾けていました。ロマンあふれる地域開発に期待が寄せられます。

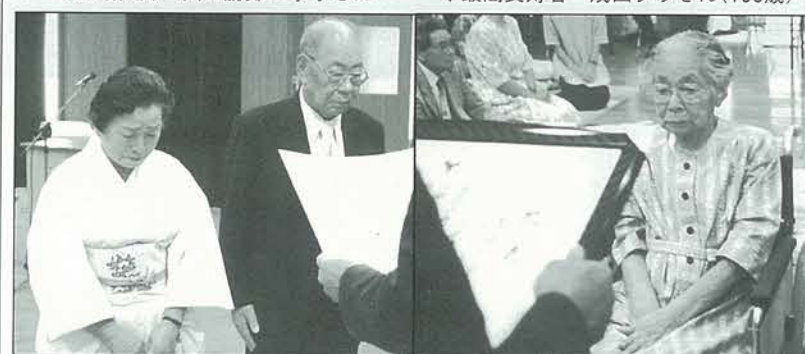


環不知火海 サミット

不知火
ブランド
検討中

↓金婚夫婦 山口勝郎・享子さん

↓最高長寿者 成田タヲさん(100歳)



人生50年は昔話に 一番若手は70歳!!

敬老者は、
19人増の
1,083人

9月12日、改善センター、赤崎漁村センター、平国コミュニティセンターの三会場で敬老会が開催されました。今年、対象となるのは昭和29年9月16日以前に生まれた満70歳以上の方で津奈木校区七百三十五人、赤崎校区八百八十七人、平国校区六百一十一人の合計千八百三十三人でした。（男性四百四十一人、女性六百四十二人。今年敬老会に初参加される、満70歳の方は84人）

当日は、午前10時から式典が行われ、長寿を祝つて多くの方に表彰状と記念品が贈られました。表彰式典の後、各地区の方による歌や踊りが披露され、みなさんの笑い声や拍手が会場いっぱいに響いていました。また、敬老会に先立ち、8月28日には改善センターで結婚50年を祝つて熊本日新聞社主催の第39回熊日金婚夫婦表彰も行われました。敬老の日は、みなさんご存じのように老人をうやまう日です。しかし、老人をうやまうのは敬老の日だけに限るわけでもありません。毎日でも敬老には心がけたいものです。敬老会で表彰を受けた方は次のとおりです。

◇敬老者（70歳以上）
千八十三人
●最高長寿者
成田 タヲ（百歳）
●最長夫婦（65年）
諫山 繁敏85・タケラ84
●金婚夫婦（31組）
長浜 学79・タエ75
松田 安雄76・ハツエ70
釜 吉幸74・レイ子71
川崎 芳人79・ヤココ74
浜本 繁巳72・ツユ子71

●結婚55年表彰（7組）
的場 善十79・ミツヨ79
江副 春雄84・シズエ78
山本志津馬87・俊子76
田上 一智82・カナ子77
川上 安喜80・幸子73
森本 清則81・スエラ77
長浜 勝喜81・ミツエ79
宮島 繁一71・敏子70
荒木 留一71・敏子70
古田 實74・チズコ72
柳迫 敏行71・スミ子70
山口 勝郎73・享子69
福田 辰義79・ヤエ子72
農添 次義74・トミエ69
山路 重郎79・トミエ71
吉永 鹿吉76・アサノ76
福山 貞彦80・フクシヲ75
古本 勝記77・千鶴子71
中尾 兼雄72・シズヲ71
野崎 貞行76・シズヨ69
千々岩實光77・フミエ75
岩崎 政雄74・タタコ69
浜田 兼人78・ツジユ71
高木 徳一72・ヒサ子71
篠原 義光73・スエコ75
徳田 為義75・米子71
山内 國義72・イトエ72
山内 勉74・キミエ75
江口 熊吉76・シメ69
林田 信雄80・チツ子71
上村 秀人75・令子69
尾花 忠夫70・ミツノ73
●結婚60年表彰（3組）
吉野 常美84・ヒテ82
川野 諭87・ツヨ80
丸田 繁人82・アキノ84
米寿者（22人）
川崎 キエ
上原 ユキエ
森本 セヨ
寺下 信義
山口 ハルカ
鶴野 アサエ
船場 清子
椎葉 保之
新立 トメヲ
坂本 リエ
福山 ミツエ
丸山 キクモ
福山 ムト
長浜 ユキノ
野崎 平四郎
野崎 ムメノ
森山 勝義
高木 ツネヲ
宮島 タヨ
●介護者表彰（6人）
新立 アツミ
岩崎 ツモ
中村 ミス
山崎 ヒロ子
荒木 ミヨ子
森山 タエ

後期ポリオ 生ワクチン投与

次の日程で、実施します。

日時 平成9年10月16日(木)
午後1時～2時

場所 津奈木町改善センター

対象出生児 平成8年7月1日から
平成9年6月30日まで

*受診時は、母子健康手帳及び
印鑑を必ずご持参下さい。

難病医療相談

専門医による医療相談を行います。
ご利用の方は予約制です
ので、予め電話連絡をお願い
します。

◆対象者

次の13疾患の患者及びその家
族

多発性硬化症、重症筋無力症、
スモン、筋萎縮性側索硬化症、
強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋
炎、脊髄小脳変性症、パーキン
ソン病、アミロイドーシス、後
縦韌帯骨化症、ハンチントン舞
踏病、ウィリス動脈輪閉塞症、
シャイ・ドレーガー症候群、広
範脊柱管狭窄症

◆日時

平成9年10月14日(火)

綱引き大会

ふれあい祭り'97 第1弾 綱引き大会参加チーム募集

いよいよ今年もふれあい祭のシ
ーズンがやってきました。
またまた去年に引き続き、綱引
き大会を行います。賞品もバッチ
リ用意して皆さんの参加を待つて
ます。

- ◆期日 平成9年11月8日(土)
- ◆クラス 小学生チーム、中学生チーム
一般チーム
(各男女別)
- ◆参加資格 町内在住または町内勤務者
1チーム10名
- ◆申込締切 平成9年10月31日(金)
- ◆申込先・問い合わせ先
役場町民課
TEL 78-3111 (113)

狂犬病予防注射

場 所	時 間
文化センター	9:00～10:00
赤崎漁村センター	10:15～10:45
平国コミュニ ティーセンター	11:00～11:30

犬を飼われている方は狂犬病予
防法に基づき、年1回注射をする
ようになっています。また、登録
が済んでいない犬は、是非この機
会に登録をしてください。(初期
登録1回のみ)

◆期日 平成9年10月17日(金)

◆料金 新規登録料・注射代 5,850円
注射代のみ 2,850円

◆対象 生後3ヶ月以上の犬
* 料金はおつりのいらないように
お願いします。

警察からのお知らせ

10月30日から改正道路交通法の
一部が施行されます。

- ◆高齢運転者・高齢歩行者の保護
- 高齢者マークの表示
75歳以上の運転者で、
身体機能の低下が運転
操作に影響を及ぼす
おそれのあるときは
高齢者マークを自動
車につけるように努
めなければなりません。
- 高齢者マーク表示車両への幅寄
せ禁止
反則金(普通車) 6,000円
(大型車) 7,000円
- 高齢の歩行者の保護
- ◆高速道路等におけるトレーラー
の走行車線の指定
- ◆交通情報提供事業者の交通の安
全と円滑への配慮義務

道路交通法一部改正

心の健康講座

心の健康、考えて見ませんか?
心の健康講座受講生募集

- ◆場 所 芦北町保健センター
- ◆参加者 30名程度
- ◆申込先 水俣保健所 TEL 63-4104

期 日	内 容
10月9日(木) 13:30～15:30	開講式 保健所の活動精 神保健福祉のあゆみ
10月20日(月) 13:30～15:30	心の病気と対応のしかた1 (うつ病、分裂病等)
11月5日(水) 13:30～15:30	心の病気と対応のしかた2 (痴呆症、アルコール依存症等)
11月17日(月) 13:30～15:30	障害者の社会復帰にむけ てボランティア活動を知ろう
11月27日(木) 13:30～15:30	話すことより聴くこと (カンゼンについて)
12月8日(月) 9:00～17:00	視察研修(熊本市) 開講式

★津奈木町では、デモンスト
レーション競技として、ゲート
ボールが開催されます。

行政書士無料相談会

熊本市行政書士会では、10月
を「行政書士制度強調月間」と
して、行政書士の業務に関し、
無料相談会を行います。

◆相談内容

- 各種許可認可・登録
- 会社・協同組合等の法人設立
- 遺言・相続
- 経理記帳・内容証明・契約書
の作成

◎電話無料相談会

◆日時 平成9年10月1日～3日

午前10時～午後4時

◆場所 熊本市行政書士会

◎街頭無料相談会

◆日時 平成9年10月16日・17日

午前10時～午後4時

◆場所 熊本交通センター地階

「観音の泉前広場」

行政相談所の開設

◆日時 平成9年10月16日(木)
午前10時～午後3時

クロスカントリー

ふれあい祭り'97 第2弾 クロスカントリー大会参加者募集

スポーツの秋に入り、みなさん
運動の方はいかがでしょうか。
やってくる人もそうでない人もク
ロスカントリー大会に参加して汗
を流してみませんか?

- ◆期日 平成9年11月9日(日)
- ◆コース 潮風コース(3km)
ブロンズコース(5km)
クロスカントリー(7.5km)
- ◆参加料
一般 2,500円
高校生 1,500円
小・中学生 1,000円
ファミリー 4,000円
(4名以内・1名増500円)
- ◆申込締切 平成9年10月17日(金)
- ◆申込先・問い合わせ先
教育委員会クロカン事務局
TEL 78-3111 (313)

熊本の新しい 道づくり

平成10年度から始まる「新た
な道路計画」に向けて、県では
みなさんのご意見を踏まえて道
路整備の基本方針を策定しまし
た。

◆道路整備の基本方針

- (1) 多様性に富む活力ある地域の
形成
- (2) 熊本市と九州を結ぶ道づくり
- (3) 各地域間の交流を図る道づ
くり
- (4) 豊かさやゆとりを実現する質
の高い道路環境の創出
- (5) 交通渋滞を緩和する道づく
り

- (6) 安全で便利な道づくり
- (7) 人や都市環境・自然環境に
優しい道づくり

詳細については県のホームペ
ージで照会しています。
◆インターネットアドレス
<http://www.kings.co.jp/ku>
mamoto-pref/

全国地域安全運動

安全で住みよい社会を実現す
るため「みんなであつこう 安
心の街」をスローガンとして
「平成9年全国地域安全運動」
が実施されます。

◆期間

平成9年10月11日(土) から
平成9年10月20日(月) まで

◆重点項目

- 乗物盗など身近な犯罪防止
- 少年非行の防止
- 暴力団の排除
- 事件や事故等でお悩みの方は
水俣警察署又は近くの交番・駐
在所までご相談ください。

戦没者等の 遺族のみなさまへ

平成7年4月1日において、
遺族の中に公務扶助料、遺族年
金等の受給権を有する者がいな
い場合に、戦没者等の死亡当時
に三親等内であった遺族の方
(支給順位有り)へ特別弔慰金
として、額面40万円、10年償還
の国債が支給されます。

◆請求受付期日

平成10年3月31日まで

◆問い合わせ先
町民課福祉係